

製品名: HSP90 β (リン酸化 Ser254) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04808**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	HSP90AB1
別名	HSP90AB1; HSP90B; HSPC2; HSPCB; Heat shock protein HSP 90-beta; HSP 90; Heat shock 84 kDa; HSP 84; HSP84
遺伝子 ID	3326.0
SwissProt ID	P08238
免疫原	抗血清は、ヒト HSP90B の Ser254 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 226-275

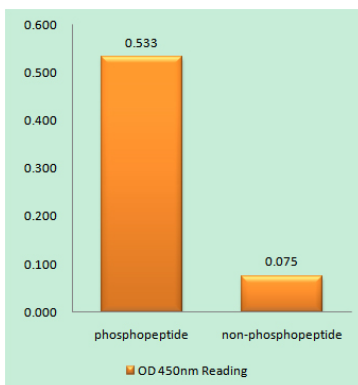
背景

この遺伝子は、熱ショックタンパク質 90 ファミリーのメンバーをコードします。これらのタンパク質は、シグナル伝達、タンパク質の折り畳みと分解、そして形態進化に関与しています。この遺伝子は、細胞質 90 kDa の熱ショックタンパク質の恒常型をコードし、胃のアポトーシスと炎症に関与していると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。偽遺伝子は複数の染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 12 月],機能: 分子シャペロン。ATPase 活性を有する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: 熱ショックタンパク質 90 ファミリーに属する。細胞内局在: ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画において、質量分析法によって同定された。サブユニット: ホモ二量体。TP53/p53 と相互作用する (類似性による)。UNC45A と相互作用する。UNC45A への結合には、HSP90AB1 二量体あたり 2 つの UNC45A モノマーが関与する。

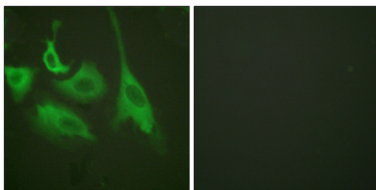
研究分野

PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

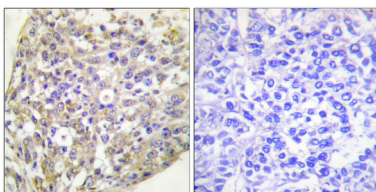
画像データ



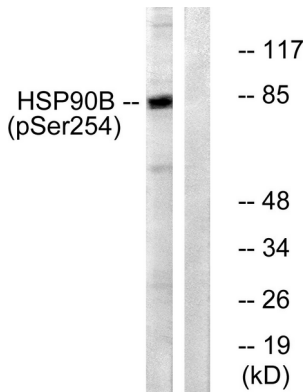
HSP90B (リン酸化 Ser254) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



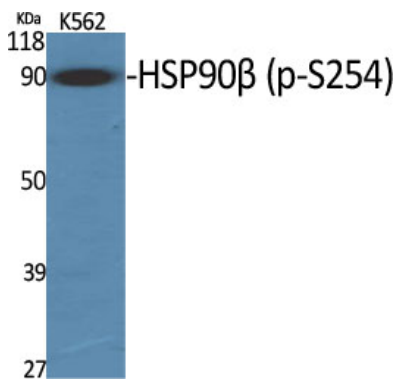
TNF- α 20nM 15 'で処理した HeLa 細胞を、HSP90B (リン酸化 Ser254) 抗体を用いて免疫蛍光染色で解析した。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした。



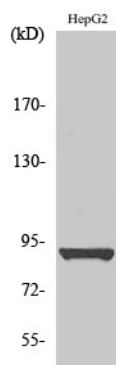
HSP90B (リン酸化 Ser254) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



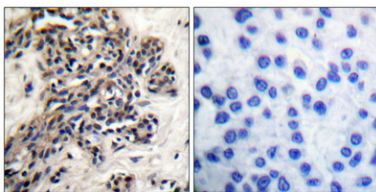
TNF- α 10 ng/ml 30 μ L 処理した HeLa 細胞ライセートの HSP90B (リン酸化 Ser254) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 HSP90 β (S254) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



リン酸化 HSP90 β (S254) ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。